



M.M. 日本語日本文学科 2年次生

参加期間： 2015年3月8日～3月15日(8日間)

I. プログラムについて

台湾に実際に行くのは1週間という短い期間ですが、プログラム自体は参加が決まった時点で始まっているんだなと感じました。日本にいる間から政治大学の先生と連絡を取り合い、授業の計画を立てたり、山本先生の指導を受けたりと行くまでの心構えも重要だなと感じました。台湾に行ってから、授業の見学はもちろん、台湾の文化や生活に触れ学ぶことがたくさんありました。授業見学は様々なタイプの授業を見ることができ、それぞれの良さや生徒たちの反応を見ることができます。また、模擬授業や教育指導では政治大学の先生が丁寧にわかりやすく指導してくださるので、授業がより良いものになりました。日本語教育についての学びはもちろん、台湾についても学べる素敵な1週間でした。

チューターの方たちとも仲良くなりました。晩御飯や観光に連れて行ってくれ、1週間ずっと一緒にいました。困ったことがあればチューターさんが助けてくれるので、中国語が話せなくても安心でした。チューターさんたちも日本についてわからないことなどたくさん聞いてくれるので、日本語や日本文化についてもお話しすることが多かったです。別れるときは寂しかったのですが、連絡先を交換しているので、日本に帰ってからも連絡を取り合っています。





Ⅱ. 参加希望者へのアドバイス

実習に関しては、日本で作った教案と台湾に行って模擬授業や教育指導を受けてから大きく変わることがあるので、臨機応変に対応できるようにしておくと思います。実際に授業になると、思っても見ない所で時間を取ったり、盛り上がるかなと思ったところで盛り上がりなかつたりするので、その場で焦らず対応できるように心に余裕を持てるようにしておくと思います。先生方も丁寧に指導して下さるので、一つ一つの言葉を大切に受け止め、授業に取り入れて行けばとても良い授業ができると思います。

生活面では、アメニティーグッズもある程度そろっていますし、ゲストハウスの近くにコンビニやドラッグストア、スーパーなどもあるので、その場でそろえることもできます。困ったことがあればチューターさんに聞けば、対応してくれました。食べ物もおいしかったです。気温は雨が降るかどうかによって大きく変わるので、服装には気を付けた方がいいと思います。パーカーなど羽織れるものが1枚あると便利です。雨が降ることが多いので、折り畳み傘は必需品です。

少しでもこのプログラムに興味を持ってくれる人がいればうれしいです。興味を持った人は、ぜひ参加してみてください！



M.T. 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2015 年 3 月 8 日～3 月 15 日 (8 日間)

I. プログラムについて

このプログラムの大きな目的は政治大学での教壇実習です。プログラムの参加が決まると指導教官である先生と密に連絡を取り合い、教案を作成していきます。教案は、担当するクラスの授業を見学することで日本語レベルを汲み取り修整を行います。日本で教案・教具を作成して現地に持っていきますが、修正があれば宿舎で作り直しをしていきます。また、教壇実習当日までに教育指導や模擬授業の時間が用意されているため、教壇に立つことへの不安は少しずつ自信へと変わっていきました。ほかの実習生と指導教官である先生とは、より良い授業を作っていく“戦友”となっていきます。



そして、指導教官や大学の職員の方々のみならず、チューターである政治大学の学生の皆さんがこのプログラムを支えてくださります。チューターの皆さんは、模擬授業における学習者役、大学内の移動や食事といった台湾での生活に付き添ってくれます。最終日の観光にも一緒についてきてくれます。1 週間、私たちと生活を共にしてくれる唯一無二の仲間です。はじめは緊張しますが、1 週間後にはチューターの皆さんとの絆はとても深いものとなります。





Ⅱ. 参加希望者へのアドバイス

生活面について、台湾は日本と比べて暖かい気候ですが、曇りや雨が降ればとても寒いので雨具と防寒着も持っていくようにしましょう。普段、小食の人は料理の量の多さに驚くかもしれませんが、実習生やチューターの方と分け合っていてください。心配なら、常備薬を持っていくことをお勧めします。

実習面についてですが、初級では学習済みの単語・文型の把握と時間配分を意識するようにしてください。中級では、担当するクラスの授業のテーマを確認して教案を作っていきます。疑問・不安があれば指導教官からのアドバイスを参考にして、工夫を加えることで教案を仕上げれば大丈夫だと思います。教案によっては、大幅な修正を行う必要が出てきます。画用紙・サインペン・マグネットなども持っておくと安心です。(もし、持っていかなかったとしても近くにスーパーやコンビニがあるので揃えられます。)そして、模擬授業後は実習生同士で意見を交換し、励ましあいながら修正を行っていくことをお勧めします。授業は一人で作るものではありません。悩みや苦しみを共有し協力し合って教壇実習日を迎えてください。きっと、適度な緊張感を持って挑むことが出来るでしょう。また、政治大学でPCも借りることが出来ますが個人用のPCを日本から持参しておく便利です。



異国の地で日本語を教えるという経験は不安なことかもしれませんが、しかし、この経験は日本では決して経験することが出来ないものです。ぜひ、参加して自分自身の成長を感じてください。



N.O. 日本語日本文学科 2年次生

参加期間： 2015年3月8日～3月15日(8日間)

I. プログラムについて

国立政治大学日本語実習プログラムは台湾にある国立政治大学に行って現地で日本語の授業を行うプログラムです。政治大学の授業を見学させてもらったり、教壇実習の前には担当していただいている先生方に自分達が作った授業を実際に見てもらって模擬授業をしたりして、本番の教壇実習に備えます。また現地に行く前に日本で先生に事前に指導をしていただき、台湾でお世話になる先生とも連絡を取りながら現地でどのような授業を行うかを計画しながら教案を作ります。

そしてこのプログラムは実習ばかりでなく、現地の学生さん達とご飯を食べたり遊びに行ったりと学生さん達との交流も盛んにすることが出来ます。台湾の文化や日本と台湾の違いを知ることが出来ました。学生さん達の日本語のレベルは高く、とても驚きました。本当に日々親切にしてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。学生さん達とは今でも SNS で繋がっています。

II. 参加希望者へのアドバイス

私は海外に行くことが初めてでとても不安でしたが、このプログラムに参加することが出来て本当に良かったと心から思いました。大学で日本語教育を学んでいる身ではありますが、やはり自分にはまだまだ知らないことが多いなと改めて日本語教育の奥深さを知ることが出来ました。

アドバイスとしてはこの季節台湾は季節の変わり目で天気が不安定なので日本の冬と変わらない日もあれば雨続きの日、夏のように暑い日がありました。温度調節の出来るようなものを持って行くと良いと思います。そして何よりも実習生同士で協力し合える関係を築くことが大切だと思います。私は今回この6人で行くことが出来て良かったと思える実習にすることが出来ました。指導していただいた先生方、国際交流センターの方々、現地の学生さん達には本当にお世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

少しでもこのプログラムに興味を持ったら実際に行動してみてください！何か得るものがきっとあるはずですよ！！